

PRESS RELEASE

2025年
2月14日

報道機関 関係者の皆様へ

北海道科学大学と北海道開発技術センター(以下 dec)は、
包括連携協定を締結し、共に道内の地域社会発展、人材育成、
学術振興などに対する更なる貢献を目指します。

1. 背景

北海道科学大学は「とことん、ひらこう。」をブランドビジョンに掲げ、地域と共に学ぶ新たな学部づくりに取り組んでおり、これから地域を担う「地域人材」の育成を目指しています。

一方 dec も、交通に関する諸課題解決、「シーニックバイウェイ北海道」などの地域づくり・観光地づくり、「ほっかいどう学」などの教育、積雪寒冷技術の啓発、防災教育、JICAとの連携、行政支援といった活動を広く展開しています。

北海道科学大学は2024年に創立100年を、decも2023年に創立40周年を迎えました。北海道科学大学は現在「地域創造学部(仮称・2027年4月に設置構想中)」の設置を構想しており、共に北海道に対する新たな貢献を見据えています。

2. 具体的な連携事項

両者は過年度より、福祉のまちづくり、協働型の地域づくり、ツーリズム勉強会、次世代型交通システムの検討など、双方の理念が重なり合う分野について、様々な連携を行ってまいりました(下掲)。

今後、別紙に掲げる「地域との協働によるまちづくり」「人材育成」「教育・学術」「地域経済やくらしの発展」などに対し、一層の連携を図りながら取り組んでまいります。

3. 協定締結式

日 時：2025年2月19日(水) 午前11時

場 所：北海道科学大学 A棟4階 A434会議室

出席者：北海道科学大学 学長 川上 敬、副学長 石田 真二、地域共育センター長 山下 美妃
dec 理事長 倉内公嘉、理事 原 文宏、調査研究部調査第1部長 越後 謙二

※取材ご希望の方は、下記までご連絡をお願い致します。

4. お問い合わせ

担 当：北海道科学大学 地域連携・広報課 西・本田
電 話：011-676-8664／mail：chiiki@hus.ac.jp

担 当：(一社)北海道開発技術センター 調査研究部 越後
電 話：011-738-3363／mail：echigo@decnet.or.jp

＜連携の具体事例＞

観光



交通



雪氷



福祉



ドライブ観光の魅力を高め、美しい景観づくりや観光振興につながる道づくりを学官地域連携により進めています。

路線バスにおける運転手不足の社会課題を背景に、自動運転バス等の次世代型交通システムの検討を行います。

積雪寒冷地の生活や道路に関する研究及び会議(寒地技術シンポジウム、日中冬期道路交通会議等)での連携を進めます。

(一社)日本福祉のまちづくり学会「第27回全国大会」において、企画立案及び大会運営を行いました。